

書式に関するチェックリスト

番号	チェック欄	チェック項目
1	☐	原稿は A4 判・縦置き横書き，字数及び行数は 40 字×40 行，余白は上下左右 25mm となっている。資料についても，余白は上下左右 25mm となっている。
2	☐	研究題目は表題 14 ポイント（MS ゴシック体）となっている。
3	☐	（副題がある場合）副題は 12 ポイント（MS ゴシック体）となっており，前後にダッシュ(―)をつけている。
4	☐	（教育実践研究報告書の場合）研究題目から 1 行空けて 10.5 ポイント（MS ゴシック体）で学籍番号及び氏名を記している。 （実践報告及び教育研究資料の場合）研究題目から 1 行空けて 10.5 ポイント（MS ゴシック体）で所属名を書き，改行して氏名を記している。
5	☐	原稿の見出しは，「1.」→「(1)」→「①」→「a」（欧文及び算用数字は全て半角）の順番となっている。見出しは MS ゴシック体となっている。
6	☐	本文の文字は見出しを除き MS 明朝体となっている。本文中の英数字も MS 明朝体となっている。
7	☐	本文の文字の大きさは見出しを含めて全て 10.5 ポイントとなっている。
8	☐	和文は全角文字，欧文及び算用数字は半角文字となっている。
9	☐	句読点は全角の「。」と全角の「，」を使用している。
10	☐	年代の表記は西暦を用いている。
11	☐	（図や表を用いている場合）「図 1」，「図 2」や「表 1」「表 2」のようにそれぞれ通し番号をつけている。図の表題はその下部に，表の表題はその上部に付している。
12	☐	注記号の形式は「1」，「(1)」のいずれかとなっており，「(注 1)」となっていない。
13	☐	注記号は文章の始まりから 1，2，3，4…と順番に数字をふっている。
14	☐	注記号が括弧記号(「」)と連結する場合は括弧の外の位置に数字をつけ，句読点と連結する場合は句読点の手前の位置に数字をつけている。
15	☐	注釈を掲載する場所は本文の後ろとする。本文末から 1 行空け，MS ゴシック体で「注」と記してから注記号の数字の順番に注釈をつけている。
16	☐	注と引用文献の表記は，「本文末に一括して記載するパターン」もしくは「本文末に別々に記載するパターン」のどちらかに基づき作成されている。

※12～16 について，専門分野により既定の書式がある場合は，それに準じていれば良いものとする。

研究倫理に関するチェックリスト

番号	チェック欄	チェック項目
1	☐	実践報告および教育研究資料は、未刊行の研究成果をまとめたもの、二重投稿（サラミ投稿を含む）ではないものである（ただし、口頭発表およびその配布資料はこの限りではない）。
2	☐	原稿に掲載する個人情報は、研究目的との関係で必要なもののみに限っている。
2-①	☐	（個人情報を含む場合） 事例に登場する個人（以下「対象者」という）が特定されることのないよう、対象者の氏名、住所、所属学校等の属性などを記す場合は原則として匿名とし、イニシャルで記載せず、A, B, C, . . . , のように記している。
2-②	☐	（個人情報を含む場合） ・対象者に、掲載に関する事前の同意を得ている。 ※ 何らかの理由（対象者が未成年等）で対象者本人から同意を得ることが難しい場合、研究参加に関して責任を負うことのできる人から同意を得ることも可とする。
2-③	☐	（写真を掲載する場合） 写真を掲載する場合、「人物」や研究に関係しない個人情報が特定されないように配慮している。また、本人への説明と同意を得ている。
2-④	☐	（児童生徒等の作品を掲載する場合） 児童生徒等の作品を掲載している場合、人物が特定されないように加工している。また、本人への説明と同意（著作者人格権を行使しないことへの合意を含む）を得ている。
3	☐	文献・図表等の引用については、原文に忠実に引用し、出典を明記している。
4	☐	補助金等を受けた研究の場合、その旨を明記している。利益相反がある場合、その情報を開示している。